

C3 東京外かく環状道路 大泉側本線(北行)シールドトンネルについて

中日本高速道路株式会社 東京支社が建設する C3 東京外かく環状道路の工事において、大泉ジャンクション(JCT)から発進したシールドマシンにて本線トンネルの掘進を行っていましたが、土砂搬出設備であるスクリーコンベヤーの一部で変状が確認されたことから、掘進を一時停止し、保全措置を実施しつつ、部材の点検や補修の作業などを行います。

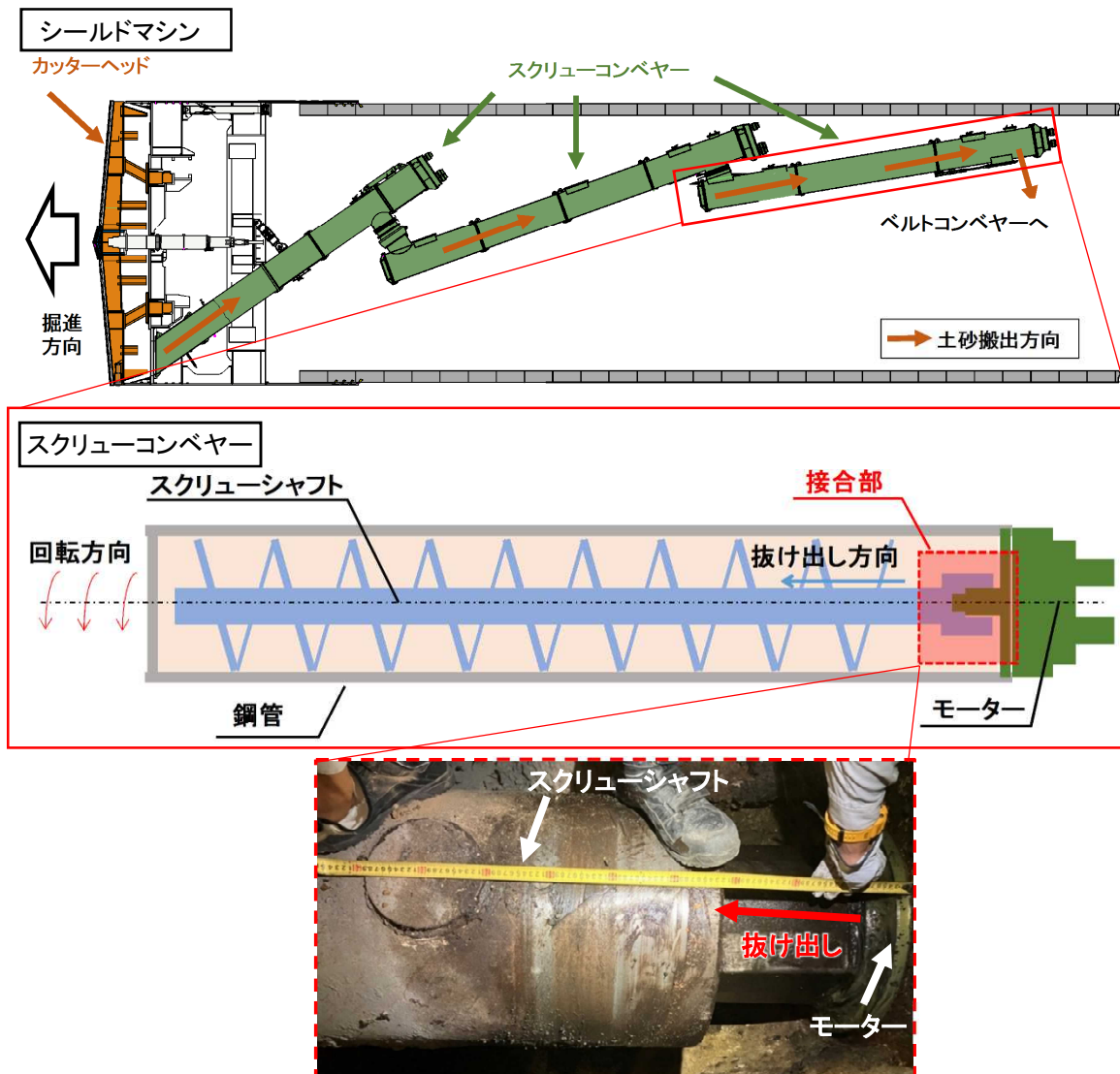
なお、セグメントで構築されたトンネルやシールドマシンの設備については安全上問題がないこと、及び施工データに異常はなく地表面の安全性を損なう事象ではないことを有識者に確認しております。

掘進の再開にあたっては、あらためてお知らせします。

<スクリーコンベヤーで確認された変状>

スクリーコンベヤーは、シールドマシンにより掘削した土砂を後方へ土を搬出するための設備です。

今回、スクリーコンベヤーの部材であるスクリーシャフトとモーターの接合部において、スクリーシャフトの抜け出しを確認しました。



接合部抜け出し状況

<位置図>

東京外かく環状道路(関越～東名)
全延長 約16km



2024年11月1日時点